大好評、内助の〝味〟

6月から始まっている水稲の航空防除――早朝から農家のみなさんが作業にあたっていますが、この裏方として内助の功を発揮しているのが、油島の婦人部（10人）のみなさん。「お父さんが朝早くから航空防除にがんばっているので、私たちも協力しなくっちゃ」と朝食用のおにぎりの炊き出しをしています。これは昨年から行われたもので、今年もすでに6回。朝4時、油島集落開発センターに集まり、7時までには毎回60食分（米約6升）のおにぎりを各作業基地へ。あたたかいおにぎりの味と妻の心に、作業をするお父さんたちも〝にっこり〟――。

ご注意を！

最近、役場や消防署と偽って、消火器を訪問販売している業者があります。これは、村・消防署と全く関係がありませんので、注意してください。

第3回岩室村少年の「主張大会」

青少年問題の権威、波場武嗣先生を迎えて、第三回岩室村少年の主張大会が行われます。ご家族おそろいで、お聞きください。

▽と　き…八月十九日(日)午後一時～
▽ところ…公民館講堂
▽発表者…●小学六年生五人　●中学生六人
▽記念講演…波場武嗣先生（意識教育研究所）

警察官

来年四月採用予定の警察官（高卒）を募集します。

▽資格…昭和三十二年四月二日～昭和四十二年四月一日までに生まれた高校卒業または卒業見込みの男子　▽受付…九月八日まで　▽試験日…第一次―九月二十三日(日)新潟市ほか　▽申込み・問合せ…巻警察署（☎〇二五六七②二三三六）か岩室、和納駐在所へ。

税に関する作文・標語

国税庁、国税局、税務署では、高校生から「税に関する作文」を、中学生から「税に関する標語」を募集しています。

テーマは、作文・標語とも税に関するものなら何でも。高校生、中学生のみなさん、応募してみませんか。

●高校生―〔作文〕
▽応募数…一人一編　三千字以内
●中学生―〔標語〕
▽応募数…一人一編
※問合せ・提出先…九月五日までに、巻税務署（〒953／巻町大字巻四二六五・☎〇二五六七②二三五五）へ。

職業訓練生（普通課程）

三条高等職業訓練校では、昭和六十年度の普通訓練課程の訓練生を募集します。

▽資格…高校卒または卒業見込みの人　▽受付…九月三日～二十九日　▽募集…精密機械科（二十名）　金型技術科（二十名）　経理事務科（二十名）
▽選考…十月十五日午前九時から県立三条高等訓練校で　▽申込み・問合せ…巻公共職業安定所か三条高等訓練校（☎〇二五六㊳八五二〇）へ。

善意をありがとう

◘間瀬二区の佐々木勇さんから「母ハルさん」のご冥福を祈られ金十万円のご寄付がありました。

◘間瀬一区の柏木浩基さんから「母マツノさん」のご冥福を祈られ金五万円のご寄付がありました。

作業停電〔8月〕

▽21日㈫　午前九時～正午　津雲田の一部

言葉の履歴書 ㉗

汗みずく

八月ともなれば夏も盛り。池内たけしの俳句「居ながらに汗の流るる日なりけり」といった暑さが続くと、ちょっと動いただけで「汗みずく」になってしまいます。

汗びっしょりになる「汗みずく」の「みずく」は「水漬く」が語源で、水につかること。着ている衣類が水にひたったようにぬれることをいいます。

「万葉集」巻十八にある大伴家持の歌「海ゆかば水漬くかばね……」の「水漬く」と同じですから、ずいぶん古い言葉を使っているわけです。

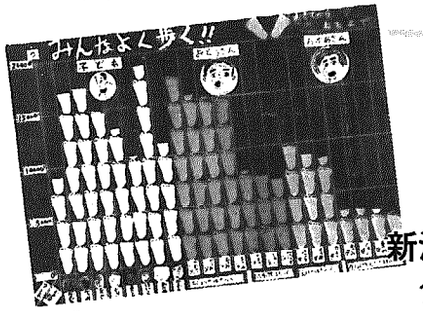
「汗みどろ」の「みどろ」は「血みどろ」と同様、まみれた状態をさします。「汗しずく」は汗がまるで雫（しずく）のようにしたたり落ちる形容で「玉の汗」に近い表現といえるでしょう。

古語の「汗しとど」の「しとど」は「しとしと」の意。現代語でいえば「汗だくだく」です。「だくだく」は流れ出るさまを表す擬態語で、略して「汗だく」。ひどく汗をかくことの表現は数多くありますが、この「汗だく」がいちばん実感的でしょう。

※花火をほぐすのはよそう

花火の中に入っているのは、強い力をもっている火薬です。わずかなまさつや熱で爆発することがあります。

昨年起こった事故にも、爆竹やモデルガン用の平玉などに使われている火薬をほぐして、プラスチックケースなどに詰め込んでいるうちに爆発した、という例がたくさんあります。事故を起こした人は、もちろん重傷です。花火をほぐすのはやめよう。



新潟県統計グラフコンクール

数の大きさを比べたり、増えたり減ったりする数の変わり方を知りたいとき、グラフにするとよく分かります。身近な数字をグラフにしよう。

〔テーマ〕…どんなことをグラフにしてもかまいません（小学校三年以下の児童は、観察した結果をグラフにしたもの）

〔作品の大きさなど〕…小・中学生はB2判（三回折ると週刊誌大になる大きさ）、高校生以上はB1判（B2判の倍の大きさ）。グラフを書く紙の質と色は自由です。ただし、裏に板を張ったり、表にカバーをかけないでください。

〔提出先・問合せ〕…九月八日までに、新潟県企画調整部統計課（〒951新潟市学校町通一番町六〇二・☎〇二五二㉓五五一一内線三一四七）へ

暮らしの健康

シリーズ(5)

文責／保健婦

糖尿病の予防

診断のきめては……

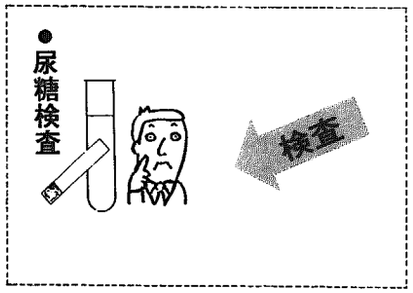
四月から糖尿病のきっかけになるいろいろな自覚症状を、お話してきましたが、もしそれらの症状に心あたりのある人は、直ちに医師の診断を受け、糖尿病かどうか、検査を受けることが大切です。

シリーズの中で書きましたが、成人病の中でも一番やっかいな病気がこの糖尿病ですから、少しでもおかしい、と思ったら医師の診断を受けることが、最も望ましいことです。

◘**検査について**

①糖尿病であるか、そうでないかを決める検査方法の第一に挙げられるのが、尿糖の検査です。これは、尿の中に糖が入っているかどうかを調べるものです。

検査の方法は、食後↓二時間後の尿について検査をします。



空腹時に検査をしても、軽い糖尿病の場合、尿の中に糖が出てこないことが多いためです。

②このほかの方法として、血糖の検査もあります。（尿の中に糖が出ていても、必ずしも糖尿病、と決めることができないこともありますが……）。

本当の糖尿病であるかどうかを見分けてくれるのが、血糖の検査です。これは専門的な検査になりますので、尿検査と違い、医療機関で実施してもらう必要があります。この血糖検査により、糖尿病の病状がどの程度であるかも、判断できます。

この血糖の検査は、糖尿病の確実な診断を下すために、また、治療上の効果を確めるために、最も確実な検査方法です。

もし、不幸にして、医師から「あなたは糖尿病です」と、言われたら、恐らく大部分の人は、大きなショックを受けられることでしょう。これから先の人生が、真暗闇になるのではないでしょうか。それは昔から糖尿病は、「不治の病い」といわれているからです。しかしそれは、間違いです。これからのあなた自身の生活のコントロールで〝治った状態〟を保っていけるのです。そこで、治療の心構えについて話をしましょう。

糖尿病が発見されたら、まず、第一に大切なことは、自分の糖尿病がどの程度の進行状態であるかをよく知ることです。そして、これにもとづいて医師の指示どおり適切な治療をすることが、基本になってくるのです。

次回は、治療の原則についてお話しましょう。